

仁和山三尊寺〔開田村にあり、浄土宗にして、本尊は阿弥陀仏、立像二尺ばかり。又觀音を安ず。立像一尺許〕

鎮守祠〔仏殿の傍にあり。勸請する所雨宝童子を安ず。又腹内に弘法大師の作り給ふ同じき尊像を収む、立像一寸八分。当寺を三尊寺と号するは、本堂の二尊に此一体を合したる由縁なり、又山号の名義詳ならず〕入定塔〔寺のうしろに塚あり。伝云、当寺の開祖入定の所なりとぞ、伝記なし〕

神足社〔開田の南にあり、祭神未考。額神足社（豎額）此神社延喜式に載たり。又文徳実録曰、斉衡元年冬十月戊

辰、以三山城国神足神一列於官社云々〕

勝龍寺〔神足の南隣にあり、又村の名も勝龍寺といふ。此寺真言宗にして、本尊は十一面觀音の立像、長七寸なり。

開基詳ならず〕

正氣山成就院〔円明寺の南十町にして宿院村にあり。浄土宗にして、本尊阿弥陀仏は、恵心僧都の作にして、坐

像二尺五寸なり。脇士は毘沙門天、湛慶の作なり。不動尊は弘法大師の作なり。開基は教円法師なりとぞ〕白山社

〔同所にあり、教円法師加賀国より勸請する所なり〕鶏鳴水〔此寺の乾半町にあり、白山権現影向の時涌出す。傍に小

祠あり。(稲荷牛頭天皇を祭る)

成恩寺じやうをんじ〔山崎やまざきにあり、禪宗にして奇山和尚中興きざんおしやうちうこうす〕神宮寺しんぐうじ〔上と同所にあり、律宗にして本尊阿阿陀仏あみだぶつ、八幡宮神はちまんぐう

作。開基行教和尚きやうけう〕

袖摺松そですりまつ〔山崎妙喜庵やまざきめうきあんにあり。千利休せんりきゅうが茶亭四畳半の囲あり、利休時々りきゅう此所に来り閑居す、今いま禅僧住持ぜんそうして、本尊は

十一面觀音を安置す。

神降山かみふりやま〔山崎離宮八幡宮りきうはちまんぐうの後山うしろやまをいふ。はじめ行教法師ぎやうけうに託し給ひて八幡宮御影向えいかうの所なり〕

補遺都名所図会玄武、白虎之卷 終